

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、農林水産省)

事業名	放射線物質対策型森林・林業復興支援事業		担当部局	復興庁参事官(予算会計担当) 農林水産省林野庁 森林整備部研究・保全課、整備課 林政部木材利用課 国有林野部業務課			作成責任者	復興庁参事官 尾関 良夫 研究・保全課 技術開発推進室長 中村道人	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成29年度		担当課室						
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名	⑫森林の有する多面的機能の発揮 ⑭林産物の供給及び利用の確保					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	東日本大震災復興基本法 第3条 独立行政法人森林総合研究所法 附則第8条		関係する計画、通知等	福島復興再生基本方針 森林・林業基本計画(方法書、中期目標、中期計画)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	放射線物質の影響がある被災地では、森林所有者の経営意欲の減退、被ばくへの不安等から、自主的・計画的な森林整備を期待することが極めて困難となっている。また、放射線物質は、木材取引を低迷させ、林業・木材産業の安定的な経営に支障を来すなど、地域における所得の確保、雇用や生活の維持等に重大な影響を及ぼしている。このような中で、森林整備を円滑に進めるためには、通常の森林整備の手法に加えて、林業者と住民の不安を取り除くための放射線物質への対処など特別な配慮が必要である。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)森林整備等のための事前調査等への支援(補助率:定額) 被災地森林の放射線量等の概況調査、作業計画の検討を行うための整備対象森林の調査、所有者への説明・同意取り付け等を実施。 (2)伐採に伴い発生する副産物の減容化等(補助率等:定額、交付、請負) 放射線物質への影響への対処及びバイオマス利用のため、伐採に伴い発生する樹木の枝葉等の分別・破碎・梱包・運搬・保管等を実施。 (3)副産物等の処理・利用の円滑化のための支援(補助率:定額) 伐採に伴い発生する製材用途に適さない幹や枝葉等の除去物質のバイオマス利用を図るため、バグフィルタ、焼却灰保管施設を整備。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	3,205(復興庁計上)	
		補正予算	—	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—	—		
		計	—	—	—	—	—	3,205	
	執行額	—	—	—	—	—			
	執行率(%)	—	—	—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(25年度)	
	森林・林業の再生を通じた被災地復興を推進(育成途中にある水土保持林(土壌の保持や保水機能を重視する森林)のうち、機能が良好に保たれている森林の割合)			—	—	—	—	79	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込み	
	本事業の事前調査等により実施された間伐等面積			—	—	—	—	(7,140)	
単位当たりコスト	—		算出根拠	執行額/活動実績					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	放射線物質対策型森林・林業復興支援事業	—	3,205						
	計	—	3,205						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、平成24年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の影響に対処するためのいわば、新たな政策課題に対応していくための平成25年度新規事業であり、横断的な見直し基準を踏まえて作成している。 【事業の成果目標、活動指標が立てられているか。また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】 ・これまでに得られた森林内の放射性物質の分布状況や放射性物質の除去等に関する実証結果等を踏まえ本事業を行うものであり、事業の趣旨、目標等を勘案した上で成果目標及び活動指標を設定したものである。 【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか。】 ・本事業は森林所有者等の林業関係者のみならず、一般住民等からの要望にも対応していくための事業である。 【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッションなのか】 ・本事業は、森林整備を円滑に推進するための支援を行うものであり、森林の整備を担う農林水産省のミッションである。 		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>指示されている「過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等」、「事業の成果目標及び活動指標の設定等」、「広い国民からのニーズへの対応」、「当省のミッションか否か」等に係る点検を行ったが、新規に要求する事業としては問題ない。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

農林水産省
3,205百万円

【補助:特定】

A.都道府県
3,101百万円

- ① 森林整備等のための事前調査等
- ② 伐採に伴い発生する副産物の減容化等
- ③ 副産物等の処理・利用の円滑化

【交付:特定】

B.(独)森林総合研究所
55百万円

- ② 伐採に伴い発生する副産物の減容化等

【公募:請負】

C.民間団体
50百万円

- ② 伐採に伴い発生する副産物の減容化等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)